



WORLDWIDE UCHINANCHU BUSINESS NETWORK

WUB ネットワーク
2021年8月24日

企画提案書

「世界のウチナンチュの日を共に祝おう」

世界のウチナンチュとは、沖縄県民、県外在住者、海外の県系人、沖縄を愛する人々（Uchinanchu-at-heart）を想定しています。

この記念日の制定には、これまで築きあげられてきた世界中のウチナーネットワークが継承され、今後ますます繁栄していくようにという願いが込められています。（WUN ウェブサイトより抜粋）

目的：

- ① 「世界のウチナンチュの日」を多くのウチナンチュに広く知らせたい。
 - 毎年10月30日が「世界のウチナンチュの日」であることが多くの沖縄県民、海外のウチナンチュに知られていない。
 - 海外にウチナンチュが移住したこと、多くの子孫が世界中にいることを知らないウチナンチュが多い。
- ② 「世界のウチナンチュの日」に世界中のウチナンチュと県民が共通の体験をすることで一体感を持たせたい。
 - 「世界のウチナンチュの日」は知っているが何をすればよいかわからない。



海外で習慣化されている「感謝祭 Thanksgiving」の行事のように、「世界のウチナンチュの日」に世界中のウチナンチュが家族、親戚、友人と集まり、豚肉料理を食べて同じ体験を共有することで、ウチナンチュの一体感の醸成を図り、「世界のウチナンチュの日」の認知度向上を図りたい。

豚肉とした理由：

- 戦後、沖縄県民が食糧難で困っていた時に、ハワイのウチナンチュが550頭の豚を沖縄に贈ってくれたことや世界各国のウチナンチュが沖縄の人々を助け、戦後の復興に寄与したことから、「感謝祭 Thanksgiving」のような取り組みを世界のウチナンチュの日に合わせることは、ストーリー性もあり、納得感が得られやすいと考える。
- 米国の感謝祭の由来は、米国に移住してきた開拓者達が食料に困って餓死者を出していた頃、先住民が分け与えた七面鳥で食糧難を乗り越えたことである。
- 終戦後食糧難で沖縄が困った時にハワイから贈られた550頭の豚が同じメッセージを持っていること、豚は沖縄のソウルフードであり沖縄の文化でもあることから、家族、親戚、友人が集

WUB NETWORK URL: <http://www.wubnw.org/hp/>

WUB 24 Chapters: ARGENTINA, ATLANTA, BOLIVIA, BRAZIL, CANADA, CHINA, EUROPE, GUAM, HAWAII, HONG KONG, KANSAI, LAO, LOS ANGELES, MALAYSIA, MAUI, MEXICO, MIYAKO, OKINAWA, PERU, PHILIPPINES, SINGAPORE, TAIWAN, THAILAND and TOKYO



WORLDWIDE UCHINANCHU BUSINESS NETWORK

まる食卓で一緒に食するのにふさわしい。

キャッチコピー：

「世界のウチナンチュの日を共に祝おう」

- 「感謝祭に家族が集まり七面鳥と一緒に食べる」と同様に「世界のウチナンチュの日に家族が集まり豚肉を食べる」のが当たり前の習慣にしたい。
- 家族や友人との会話を通じて、家族の物語や沖縄のルーツや、過去、現在、そして未来について語り合い思いを巡らせる機会とする。

活動の広げ方

- 発案者はWUBとし#UCHINA1000の中で活動を周知し、世界各国のWUB関係者に共有し、ウチナンチュの感謝祭を始めたい。(1年目)
- ワールドウチナンチュウィークの開催(10月30日ー11月6日)
- 世界のウチナンチュの日に豚を食べる習慣を広げるPRについては、沖縄、ハワイ、ブラジルなどの豚肉関係者(養豚業社、加工品メーカー、流通事業者)を巻き込んでプロモーションを展開する。(2年目以降)
※売りたい人が頑張ることで活動が広がる仕組みにしたい。例：バレンタインデーのチョコレート

活動を広げる協力をお願いする関係者

- 世界各国のWUB支部、県人会等
- 養豚関係者：各養豚事業者、養豚協会等
- 加工品メーカー：沖縄県内(沖ハム、ホームメル等)、ハワイ、ブラジルのメーカー(ポーク缶詰関係者、ソーセージ関係者等を含む)
- 流通事業者：金秀、サンエー、ユニオンなど
- コンビニ：沖縄ファミリーマート、ローソン沖縄
- 飲食店(10月30日を含み一週間をウチナンチュの感謝祭ウィークとして豚料理をおすすめメニューを提供、テイクアウトを含む)
- その他沖縄関係者

以上